

# いじめ防止推進校の紹介

## 白河市立白河中央中学校・生徒会



### 【学校紹介】

本校がある白河市では毎年、「『いじめ』について考える中学生フォーラム」を実施しています。そこでは市内8つの中学校が集まり、「いじめを無くす、いじめを生まない」ための各学校での取り組みについて話し合いを行っています。本校独自の内容としては、生徒会が実施する全校生へのいじめについてのアンケートの結果をもとに、その後の活動についてどうするかを話し合い、生徒指導部と連携しての学級ミーティング、さらには有識者を招いての全校フォーラムにつなげることで、学校全体の意識の向上を図っています。

### 【生徒会の活動の様子】

今年度の「『いじめ』について考える中学生フォーラム」のテーマは「『安心して過ごせる学校・学級』にするために」というものでした。そこで本校生徒会では「SNSからいじめを生まないために」という視点で、SNS利用に関するアンケートを実施しました。SNSを利用して嫌な思いをしたことがあるか、メッセージを送る側と送られる側の感じ方の違い、他人の情報をどこまで伝えてよいかなどについて質問をし、その結果を生徒会新聞で提示しました。

本校では全クラス、朝の短学活の中で「生徒会アピールの復唱」という時間が設けられています。これは以前の生徒会でいじめを生まないための標語を募集し、その中から選ばれたものです。「やめようよ あなたがされたらいやなこと 見て見ぬふりもいじめの一つ」これからも、この合い言葉をもとにいじめを許さない学校づくりをしていきます。

白河中央  
生徒会室

いじめ撲滅集会フォーラムがありました。11月のいじめ撲滅集会フォーラムを開催し、いじめについて理解を深めたり、いじめに悩んでいるように感じている生徒たちと話をしました。いじめ撲滅集会は終了しましたが、いじめをなくす、いじめを生まないという強い気持ちも、今後生活する上で大切にしたいと思います。

いじめ撲滅集会を終え振り返って  
今回のいじめフォーラムを通じて、自分たち自身もSNSの使い方や改めて考えることができた。SNSの活用も大切だが、LINEで返信をする際やLINEのやり取りが誤解を生むこともあるように気をつけたい。いじめ撲滅集会が終わっても、いじめに悩んでいる生徒は多い。いじめ撲滅集会が終わっても、いじめに悩んでいる生徒は多い。いじめ撲滅集会が終わっても、いじめに悩んでいる生徒は多い。

事前にアンケートの結果は以下のようになりました。  
今の自分の意見の上でどう実行していきましょう?

(1) SNSで嫌な思いをしたことがある (2) SNSで嫌な思いをしたことがある

(3) 無言で授業を聴かなくていい (4) 連絡先を許可可視化していい (5) 意図的に連絡しなかったことがある

(6) 連絡先を許可可視化していい (7) SNSで噂の話を聞いたことがある (8) 悪口を言われたことがある



### 【いじめ防止ラウンドテーブルに参加して】

今回、「いじめ防止ラウンドテーブル」に参加するにあたり、自分たちの学校での取り組みを再度振り返ることができました。全校フォーラムなど、当たり前に取り組んでいることも様々な背景があって始まったことであり、続けてきたことの重要性を感じました。また、他校での取り組みを聞くことで考えが広がりました。目安箱のデジタル化など、現在の社会に合わせて変化していくものも多くありますが、学年の枠を超えて関わりを持つことや、テーマを絞って話し合いの場面を持つという、人と人の関わりが大切だと感じました。

### 【ラウンドテーブル参加後の取り組み】

「いじめ防止ラウンドテーブル」後に実施した「いじめ撲滅月間」では、「SNSから『いじめ』を生まないために～あなたに何ができるか～」というテーマのもと、学級ミーティングを経て全校フォーラムを実施しました。「SNSでのいじめ」とはどのようなものなのかを共有し、「いじめ」が起こらないようにするにはどうすればよいのかを考え、意見を出し合いました。弁護士の方やカウンセラーからいじめが絶対にいけない理由やストレスとの向き合い方についてアドバイスをいただきました。

